



## 「植木地蔵尊」

由緒：宝暦2年、六部市之進という者が、霊夢によって奈良「猿沢の池」のほとりより掘り出した、立像木身の地蔵尊のお告げにより、江戸神田に住む、旗本、水野小十郎の領地である、長岡村が有縁の地であるというので、仮堂を建て、安置したところ、参拝者が日増しに群集した。

その後、村の有志相談の上、間口4間、奥行5間の、二重御料付棒総丸柱の大堂守を建立。

落成式は、安永2年4月大吉日に盛大に行われた。

天下泰平、国家安全、五穀豊穰、子孫長久、諸宿厄除、祭祈祷の道場として、霊験あらたかであったと伝えられている。

この地蔵尊は、植木を植えて信願すると、諸願成就するとの噂が広まり、植木地蔵と呼ばれた。